

平成21年度表彰について

社団法人におい・かおり環境協会
表彰委員長 深 澤 修

平成21年度の表彰を平成22年度の定期総会において行うこととし、機関誌「におい・かおり環境学会誌」(平成21年9月号)および協会ホームページへの掲載により会員から表彰候補者推薦募集を行った。推薦された者の中から各賞選考部会における検討結果を受けて表彰委員会で審議し、以下のとおり各賞の受賞候補者を決定した。

1. 功労賞 (敬称略)

功労賞は本会の会員であり、本会の発展に貢献もしくは、臭気に関する分野において特に優れた功績を認められた個人に、贈呈されるものである。受賞者は以下のとおりである。

○ 安藤 忠夫 元近江オドエアサービス株式会社 取締役技術部長 (受賞理由)

安藤忠夫氏は、平成3年より15年の長きわたり、理事として協会の運営に積極的かつ建設的に関われ今日の協会あらしめた。氏の協会の運営発展に寄与した功績は誠に多大であり功労賞に値するものである。

○ 重田 芳廣 元(財)日本環境衛生センター 公害部長 (受賞理由)

重田芳廣氏は、当協会の前身である悪臭公害研究会時代よりその運営等に携わるとともに、協会の社団法人化とその後の発展に尽力された。氏の協会の運営発展に寄与した功績は誠に多大であり功労賞に値するものである。

2. 学術賞 (敬称略)

学術賞は本会の会員であり、においに関する論文、著作等学術的研究成果が特に優れた個人に、贈呈されるものである。受賞者は以下のとおりである。

○ 綾部 早穂 筑波大学大学院 人間総合科学研究科 准教授 (受賞理由)

綾部早穂氏は、早くから臭気不快度の研究に携わり、ミュンヘン大学との国際比較研究によりにおいの快不快と学習・体験の関係を明らかにするなど、嗅覚に関する研究分野の発展に大きく貢献されました。

3. 技術賞 (敬称略、順不同)

技術賞は本会の正会員、公共会員および賛助会員である法人、これらに所属する個人またはグループで、臭気に関する調査研究又は臭気対策技術等に関して顕著な貢献

があったと認められる者に、贈呈されるものである。受賞者は以下のとおりである。

- **中本 高道** 東京工業大学 理工学研究科 電子物理工学専攻 准教授
(受賞理由)

中本高道氏は、においのセンシングデバイスやにおいを識別提示する「嗅覚ディスプレイ」装置を研究開発し、多数の要素臭を高速電磁弁開閉により任意に調合することで、遠隔地でのリアルタイム再生を可能にするなど この分野の技術の向上発展に貢献されました。

- 4. **におい・かおり環境賞** (敬称略、順不同)

におい・かおり環境賞は本会の会員および会員外にかかわらず、良好なかおり環境の創出、保全に尽力し、地域のかおり環境の向上に顕著な貢献があったと認められる個人および団体等に、贈呈されるものでされるものである。受賞者は以下のとおりである。

- **渋谷 達明** 香りの図書館 館長
(受賞理由)

渋谷達明氏は、匂いと味に関する先端的研究に従事し、嗅覚・味覚研究の先駆的役割を果たすとともに、日本味と匂学会長や嗅覚味覚研究所長、香りの図書館長などを歴任され、若手研究者の育成だけでなく、一般の人々への嗅覚やにおいに関する啓発にも貢献されました。

- **かおり風景 100 選「大石田町そばの里」推進協議会** 会長 大石田町長 阿部孝義
(受賞理由)

かおり風景 100 選「大石田町そばの里」推進協議会は、環境省主催の「かおり風景一〇〇選」の受賞を契機に、行政、事業者、町民が一体となって「大石田町そばの里推進協議会」を組織し、そばのかおりを町の活性化に活かすなど、かおり環境を資源とするかおり産業の観光資源化、次世代への継承活動に取り組みられ、良好なかおり環境の保全・創出・向上に努められました。

- **水尾自治会**
(受賞理由)

水尾自治会は、我が国の柚子発祥の地としてその原種栽培を継承し、まるやかで持続性のあるかおりを守り、最近「柚子のオーナー制度」や「柚子しぼり隊」制度を創設されるなど、かおり環境を資源とするかおり産業の観光資源化、次世代への継承活動に取り組みられ、良好な環境の保全・創出・向上に果たされました。